

2 知識創造型ものづくりの港

将来像

海辺の優れた景観と豊かな環境のもと、研究開発施設や高等教育研究機関が集積し、緊密な産学連携を通じて最先端の産業技術が開花する職・学・住近接型の知識創造型ものづくりの港

実現イメージ

◎研究開発施設・高等教育研究機関の集積と産学連携・協働

理化学研究所横浜研究所や横浜市立大学大学院を中心に民間や公共の各種研究開発施設が集積し、最先端の研究開発が行われている。

◎研究開発と一体となった量産化工場の集積と輸出入貨物の創出

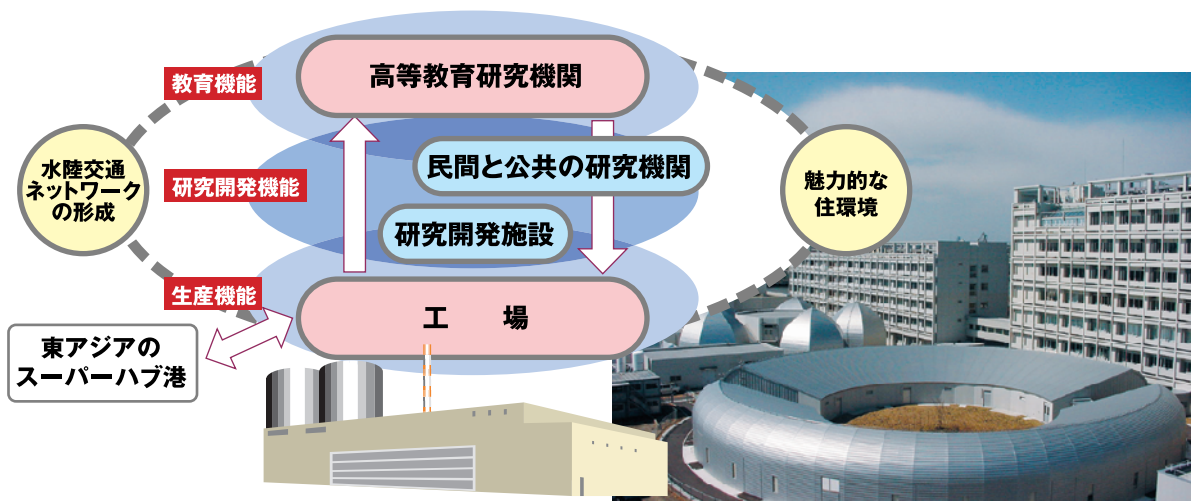
製品開発サイクルが短い高付加価値型製品を中心にマザー工場が立地し、横浜港を活用した生産活動が行われているほか、輸入品の最終加工基地としても活用されている。

◎水陸交通ネットワークの構築と国際化された羽田空港の活用

貨客併用化された東海道貨物支線や水上バスなどが一体的にネットワーク化され研究者の通勤や研究活動、ビジネスの移動手段として、また、再拡張・国際化された羽田空港との交通アクセスとして活用されている。

◎豊かな研究・居住環境の創造と職・学・住近接型ライフスタイルの実現

研究者や留学生などにとって魅力的な居住環境が整備され、職・学・住が近接した新しいライフスタイルが横浜から発信されている。



理化学研究所横浜研究所

実現のポイント

- ◎民間と公共の研究開発施設の集積と産学連携・協働の促進
- ◎大学・工場の立地に対応した用地確保と立地誘導
- ◎豊かな住環境および臨海部への交通ネットワークの整備

■東海道貨物支線…桜木町駅～鶴見駅～浜川崎駅～東京貨物ターミナル駅まで至るJR貨物線。東京圏の鉄道計画に関する平成12年1月の運輸政策審議会答申では、その貨客併用化について整備を検討すべき路線として位置付けられた。

■マザー工場…本社工場、研究所併設工場、新製品に関する試作、開発機能を有する工場。